

# まちづくり協議会ニュース

第3号

発行：学研北生駒駅北地区まちづくり協議会 運営委員会

このニュースは、学研北生駒駅北地区のまちづくりについて、内容をお知らせするものです。

## 新年あけましておめでとうございます

昨年は大変な日々が続きましたが、皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと存じます。まだ気の緩められぬ日々が続きますが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

昨年は、皆さまのご理解とご協力を賜り、7月7日に「学研北生駒駅北地区まちづくり協議会」を設立し、運営委員会にて本地区のまちづくりについて検討を進めてまいりました。

現在は、基本構想図に基づき、基本計画の作成のための検討を行っております。

本年は、より魅力的なまちづくりが実現できるよう、皆さまとまちづくりについて勉強会や意見交換を行いながら、基本計画の策定に向け、取り組んでまいります。

本年も変わらぬご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

学研北生駒駅北地区まちづくり協議会 運営委員会委員長  
辻井 則一

## 第3回運営委員会を開催しました

第3回運営委員会では、地権者アンケートの集計結果等の確認や本地区のまちづくりの基本方針の確認、事業手法の選択について協議を行いました。

### －開催概要－

- ◆ 日 時：令和2年12月23日（水）19:00～21:00
- ◆ 場 所：北コミュニティセンター302会議室
- ◆ 参加者：辻井委員長、田村副委員長、阪東副委員長、吉岡副委員長、近鉄不動産(株)、奈良交通(株)、藤岡調整委員、生駒市都市計画課、コンサルタント：昭和(株)

### ◆ 内 容

- ・第2回運営委員会の振り返りと基本方針の確認
- ・地権者アンケートの集計結果について
- ・まちづくり協議会ニュースについて
- ・事業手法について



運営委員会の様子

## 事業手法について

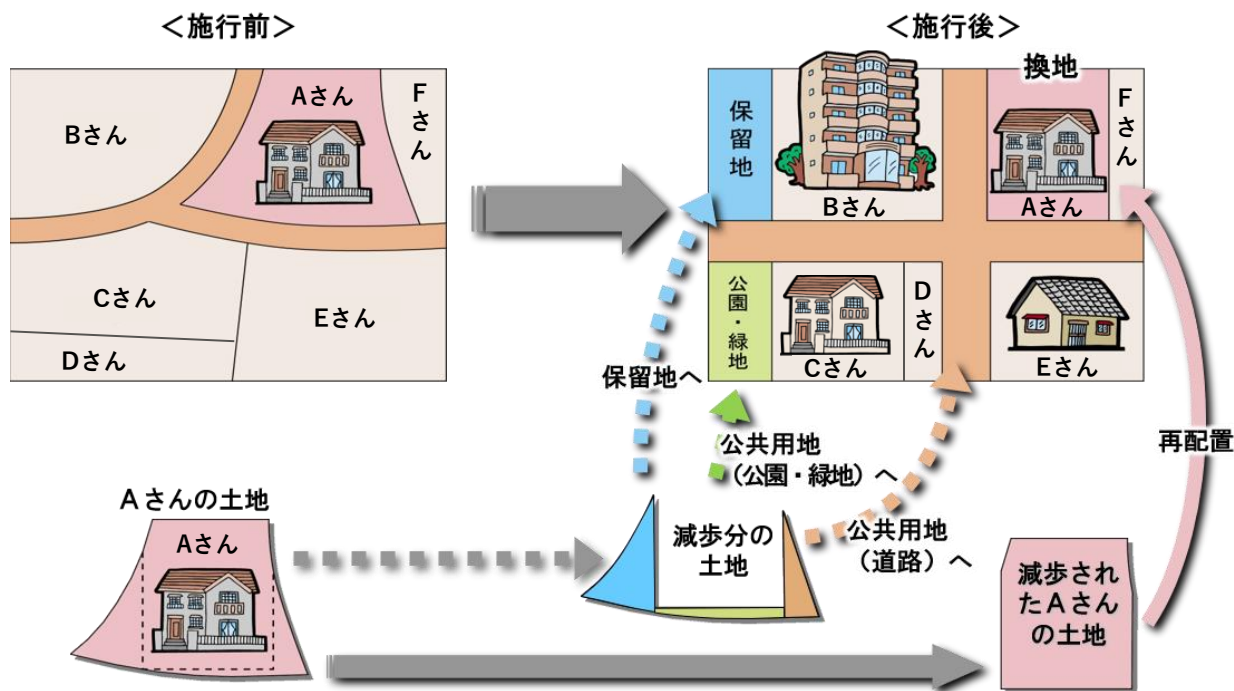
今回、運営委員会では、本地区で想定される事業手法の長所および短所を整理したうえで、本地区で考えられる事業手法の検討を行いました。

その結果、道路に面していない土地を再配置することで資産価値が向上するなどの利点を考慮し、本地区では「土地区画整理事業」を選択し、基本計画の策定を進めていくこととなりました。

### 【土地区画整理事業とは】

土地権利者の皆さまから、面積や位置など現在の資産価値に応じて、土地を提供（減歩（げんぶ））し合い、道路・公園などの公共用地の整備を行います。また、その一部（保留地（ほりゅうち））を売却し事業資金の一部に充て、土地を再配置（換地（かんち））することで整然とした区画にし、良質なまちなみ整備を図る事業手法です。

#### ◆ 土地区画整理事業のイメージ



## 今後の予定について

運営委員会では、今後、土地区画整理事業についての勉強会や基本計画策定のための意見交換などを予定しています。新型コロナウイルス感染症の動向をみながら、開催日時、会場、感染症対策などを検討し、あらためてご案内させていただきます。

また、アンケートにまだご回答いただけていない方には、後日改めて事務局よりヒアリングにてご意向を確認させていただきたいので、ご協力をお願いいたします。

自然

知

夢

がはばたく 北生駒

～過去から未来へ伸びゆくまち 地域に根を張りつながるまち～